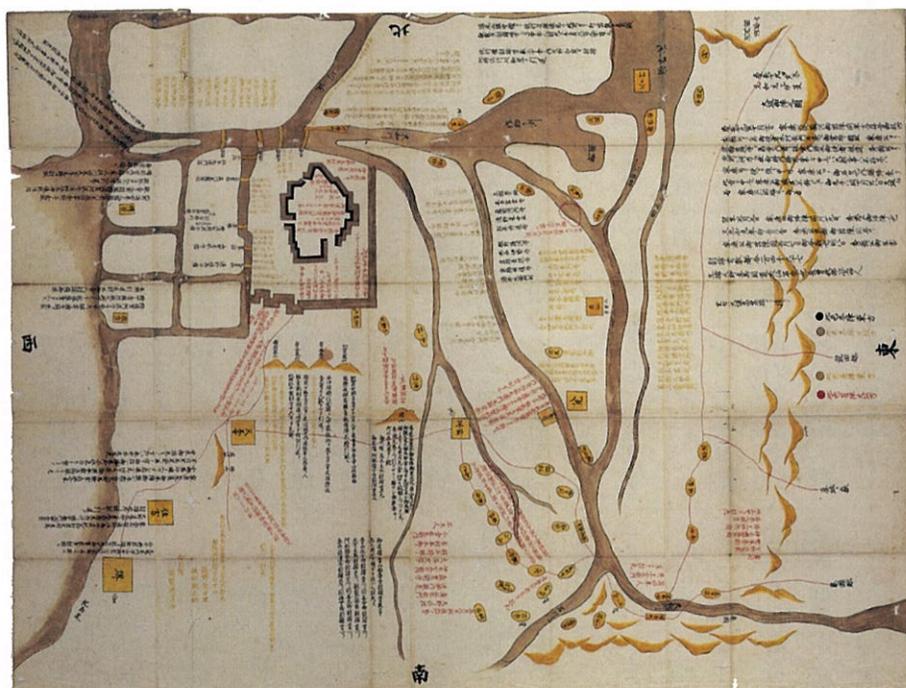


やまとの名品 天理図書館



おおさかごじんのず 大坂御陣之圖

江戸時代後期写
縦79cm 横106cm

天理図書館 大坂御陣之圖

掲出図は「慶長十九年甲寅冬元和元乙卯夏大坂御陣之圖」と題されています。南は大和川、西は堺から博勞淵^{はくろうぶち}まで、北は淀川、東は高井田^{たかいだ}から深野池^{ふかのいけ}までを描いた大坂の地図に、大坂冬の陣・夏の陣の記録が記されています。

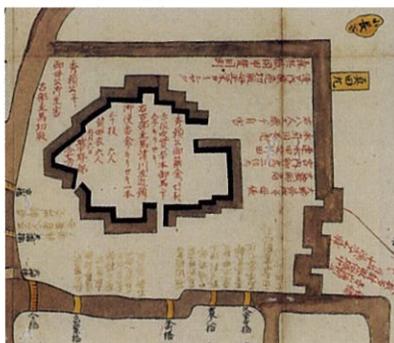
東面には、題に続いて慶長十九年十月十一日の徳川家康駿河出陣から十二月二十五日の和睦、元和元年五月八日の秀頼自害までの概略を記し、地図の各所に、黒・茶・黄・朱色の筆にて冬陣・東方・冬陣大坂方・夏陣東方・夏陣大坂方の布陣や戦いの様子を記します。

真田幸村が大坂城南面に築い

た真田丸や、それに対面する軍勢も描かれ、「加賀中納言責口十二月三日ノ夜本多安房守山崎勘助堀際迄押寄雖責戦後陣不續引取ル」等と、前田利常・井伊直孝^{なおたか}・松平忠直^{まつだいらただなお}の大軍を真田隊が討ち返す様子が記されています。

幸村は翌年、夏の陣において討死を遂げますが、その様子も「五月七日越前手ニ討捕首数三千六百五十二ノ内真田左衛門佐ヲ西尾九兵衛討捕」と、黄文字にて記されます。

真田幸村の他にも、大坂の陣では後藤又兵衛^{ごとうまたへえ}・明石全登^{あかしぜんとん}といった牢人衆や、秀頼の家臣大野修理^{おののしゆり}・木村重成^{きむらむねなり}等が活躍しました



たが、本図には彼等の名がそこかしこに記され、大坂各地での奮闘が彷彿^{ほつぷつ}される興味深い資料となっています。

なお、大坂城本丸には朱字にて「五月六日城中勢都合七万秀頼公并二御母公御生害」と豊臣家の最期が記されています。

(天理図書館 近江めぐり)

天理図書館のお知らせ Tel: 0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>
◆平日(午前9時~午後5時半) 土・日・祝(午前9時~午後4時半)
○8月の休館日: 6日~20日・31日
(本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください)